

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	救助活動後、傾斜を下りだした事故車両と消防車両の衝突事故
3. 体験した事例の中心的要素	上り勾配の高速道上でトラック同士の追突事故。事故車両後方に消防車を部署し救助活動終了後、全隊員が車両に乗り込んだとき、事故車両が傾斜を下りはじめ消防車両に衝突した。
4. 体験した事例の原因・理由	現場到着時、上り勾配は確認したが、先着の警察が事故処理をおこなっていたため、急ぐあまり隊長の輪止めの指示にも気付かず活動を開始した。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。(指示や助言が聞こえなかった。近くの隊員に気付かなかった等)
------------------	--

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成28年8月9日 午前3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:高速道路
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他:消防車両の破損
7. 事例体験時の活動	救助帰署途中
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他:帰署のため車両に乗車したとき。
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ●

11. 事例発生の経過。

[illegible][illegible]

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

○心理・体調について

はい

	いいえ
--	-----

	いいえ
--	-----

はい

	いいえ
--	-----

	いいえ
--	-----

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

個人：現場で毎回必ず行う作業は考えて行うのではなく体で覚えておくこと、それにより自分に余裕を持ち、視野を広く持つことで現場の状況に対応していけるようにしたい。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

指示を出すときは、指示を受けるものを明確にする。(名指しする。呼び寄せる。) 「だろう」と思い込むことなく、状況を把握し的確な判断をする。 「指示」を確実に受けたことを返答する。

事故現場説明図

